

# ながれやま 博物館だより

第5号（令和6年4月／年2回発行）

## お知らせ

### ● 第5号の主な内容

- ① 7月からの**企画展**は**赤城神社**がテーマ。展示の見どころをご案内します。
- ② 昨年創立150年を迎えた新川小学校。調査により、**新しい資料**が発見されました。
- ③ 被災した**能登町**は流山市の姉妹都市。博物館でも**産品**などを紹介しています。

### ● 令和6(2024)年度の講座

詳細は広報ながれやま、博物館ホームページ等でご確認のうえ、お申込みください。

#### 寺子屋講座

4/27	歴史街歩き—流鉄の廃線跡と車庫見学—
6/15	考古学入門—考古学って何だろう？—
7 / 6	地図で見るおたかの森のうつりかわり
10/12	考古学入門—野々下貝塚を歩く—
11/2	庚申塔がおもしろい
11/17	歴史街歩き—利根運河・西深井地区—
12/7	くずし字入門
1/18	考古学入門—貝塚について考えてみよう—
2/15	
2/22	古文書を読む(古文書講座)
3 / 1	

#### 子ども教室

4/14	草花あそびをしてみよう！
6/22	甲冑を着てみよう！
7/25	考古学体験会(貝アクセサリ・土器拓本)
8 / 7	勾玉を作ろう！
10/19	鏡を作ってみよう！
12/15	昔の印刷機で年賀状を作ろう！
12月下旬	茶道教室
3月中旬	煎茶教室

※日程・内容は変更になる場合があります。

### ● 博物館の刊行物を値下げ

博物館の刊行物はおおよそ70種に及びます。昨年秋の「広報ながれやま」でもお知らせしたように、これらの多くを大幅に値下げしました。お求めやすい価格になりましたので、皆様のご家庭などで流山の歴史、地理、文化や暮らしを紐解いてみてはいかがでしょうか。在庫が少ないものもありますので、お早めに。詳しくは右の二次元コードから、博物館ホームページの刊行図書一覧をご覧ください。



## 展示案内

### ● 企画展「赤城山に受け継がれた流山の記憶—赤城神社と人々—」

★会期：令和6年7月20日(土)～10月27日(日)

流山本町のシンボル、流山6丁目の赤城山。山頂にある赤城神社には、初詣や大しめ縄行事、例大祭を目当てに多くの参詣者が訪れます。この赤城神社とそれを取り巻く人々に焦点を当て、江戸時代から現代までの両者の関わりを紐解きます。ヒントは、社殿や古記録、祭礼・行事などを長く伝えてきた人々の中にありました。展示では、博物館が行ってきた文化財調査の成果を踏まえ、未公開の資料や、折々の祭礼の写真を加えて紹介します。



赤城神社の扁額



赤城神社・大しめ縄行事の様子

(小栗信一郎)

会期中休館日 月曜日 (8/12、9/16・23、10/14 は開館、翌日火曜日は休館) 会場 第二展示室 観覧料 無料 ※団体見学をご希望の場合は事前にご一報ください。

## 発掘現場から

### ● 発掘調査の成果を引出す仕事—整理作業の紹介② 接合作業—

接合作業とは、発掘現場で破片となって出土した土器や石器などの遺物を、本来の形状に復元するための作業です。縄目や装飾の形、文様をつけた時の力の方向、曲がりや傾きの具合、焼いてできた時の色合いなど、土器片に残された様々な情報を手掛かりにして、隣に接合する土器をひたすら探します。単調な作業で、失われたピースを探すパズルのような作業です。遺物と遺物がぴったり接合した瞬間は心の中で「カチッ」と音がする感じがします。整理作業の中で一番時間がかかる作業ですが、一番楽しい作業でもあります。



接合関係が認められたらテープで簡単に固定して、裏面には○や△などのマークを割印のように書き込みます。この作業を繰り返して接合部分が大きくなることで、本来の形状に復元されていきます。しかし、すべての遺物が完全な形に戻るわけではなく、どこかの破片が足りないことがほとんどです。この欠けている部分については、次回紹介する復元作業で補修を行います。

(小川勝和)

### ● 新刊『流山市史研究』第 25 号

3月に『流山市史研究』第25号が完成し、市内の図書館等で見られるようになったほか、博物館でお買い求めいただけるようになりました。

『流山市史研究』は流山市とその周辺の地域の歴史や文化などについての研究成果を発表するものです。少し専門的な内容も含まれますが、市民の皆さんにとってわかりやすく、理解しやすいものを目指して作られています。

第25号の内容は、①赤城神社 ②江戸時代の谷・桐ヶ谷・上貝塚地区 ③「万上」のみりん工場にあった施設 ④流鉄流山線の新発見資料の4つです。特に赤城神社についての論稿は7月から始まる企画展「赤城山に受け継がれた流山の記憶—赤城神社と人々—」とも関連する内容です。企画展の「予習」または「復習」の相伴として、ご一読ください。（伊藤智比古）



赤城神社関係資料（宗源宣旨）

**価格** 500 円 ※お求めの際は博物館受付にお声かけください。

### 資料・文化財紹介

#### ● 新収蔵資料・新川小学校関係資料

昨年、出張展示「創立 150 周年 新川小学校のあゆみ」の事前調査で新たな資料が見つかりました。昭和 58（1983）年の創立 110 周年記念事業の協賛者に配られた絵はがきです。この絵はがきは、学校や学区の空撮写真、古い校舎の写真などの写真 5 枚が 1 組となっています。そのうちの一つ、学校の空撮写真から明らかになったことを紹介します。

画面左下に写るプールは昭和 37 年に造られたもので、現在のものとは異なります。この写真が撮られた 9 年後、老朽化のために建て替えられたためです。その際、それまでは校庭の隣に駐車場があったために安全上の問題があったこと、児童の遊ぶボールがたびたび車に傷をつけていたことなどから、駐車場とプールの位置を入れ替えて建設工事が行われました。

新しいプールは平成 4（1992）年に完成しました。学校の記録によると、5 月 11 日の落成式は全校児童が出席し、テープカットののちに水泳部による泳ぎの披露などが行われるなど、盛大に挙行されたようです。（松本武之）



## 展示案内

### ● 姉妹都市・能登町

白みりん発祥の地として醸造業が盛んだった流山に、全国で名高い能登杜氏や旧内浦町の人たちが昭和初期から多く移り住んだことで交流が始まりました。平成 19（2007）年の能登半島地震、平成 23 年の東日本大震災での被害に対する相互の支援により絆が深まり、平成 24 年 1 月に姉妹都市となりました。

そして、今年元日の夕刻に能登地方を襲った大地震……大規模な被害を受けた能登町とは、改めてどんな町なのでしょう。博物館では正面玄関付近の「姉妹都市コーナー」にて姉妹都市となった経緯や産品を紹介しており、広報誌も閲覧できます。

もっと知ろう、能登町のこと——。復興までの長い道のり、私たちは末永く気持ちを寄せていく必要があります。市ホームページにて、義援金のご案内をしています。（流山市での義援金受付は 5 月 31 日までの予定）。（池田祐子）



出典:能登町観光ガイド  
(<https://notocho.jp/access/>)



市 HP  
(義援金受付)

### ● 常設展示リニューアル 第 3 弾

2 月末、常設展示の「掘り出された流山」コーナーをリニューアルしました。今回の目玉は貝塚の断面を標本にしたパネルです。以前は展示室の別の場所に展示していましたが、より見やすくするためにガラスケース内に移動しました。

このパネルは三輪野山貝塚（現在の三輪野山 4 号公園周辺）の一部を切り取ったものです。三輪野山貝塚は東西 120m、南北 100m に及ぶ大規模な貝塚で、縄文時代の終わりごろの竪穴住居の跡が 80 軒以上も見つかりました。「貝塚」というだけあって、縄文人が食べた貝の貝がらが



大量に発掘されたほか、動物の骨や土器・石器なども見つかっています。

展示ではこれら貝塚からの出土品も一緒に見ることができます。どんな種類の貝がらや動物の骨があるのでしょうか？ ぜひご覧のうえ、縄文人の食生活を想像してみてください。（伊藤智比古）

ながれやま博物館だより 第 5 号

発行日 令和 6 年 4 月 1 日

編集・発行 流山市立博物館

〒270-0176 流山市加一丁目 1225-6

お問い合わせ ☎04-7159-3434

ホームページ <https://www.city.nagareyama.chiba.jp/life/1001780/1001785/index.html>



ホームページ



Facebook



X(旧 Twitter)



Instagram